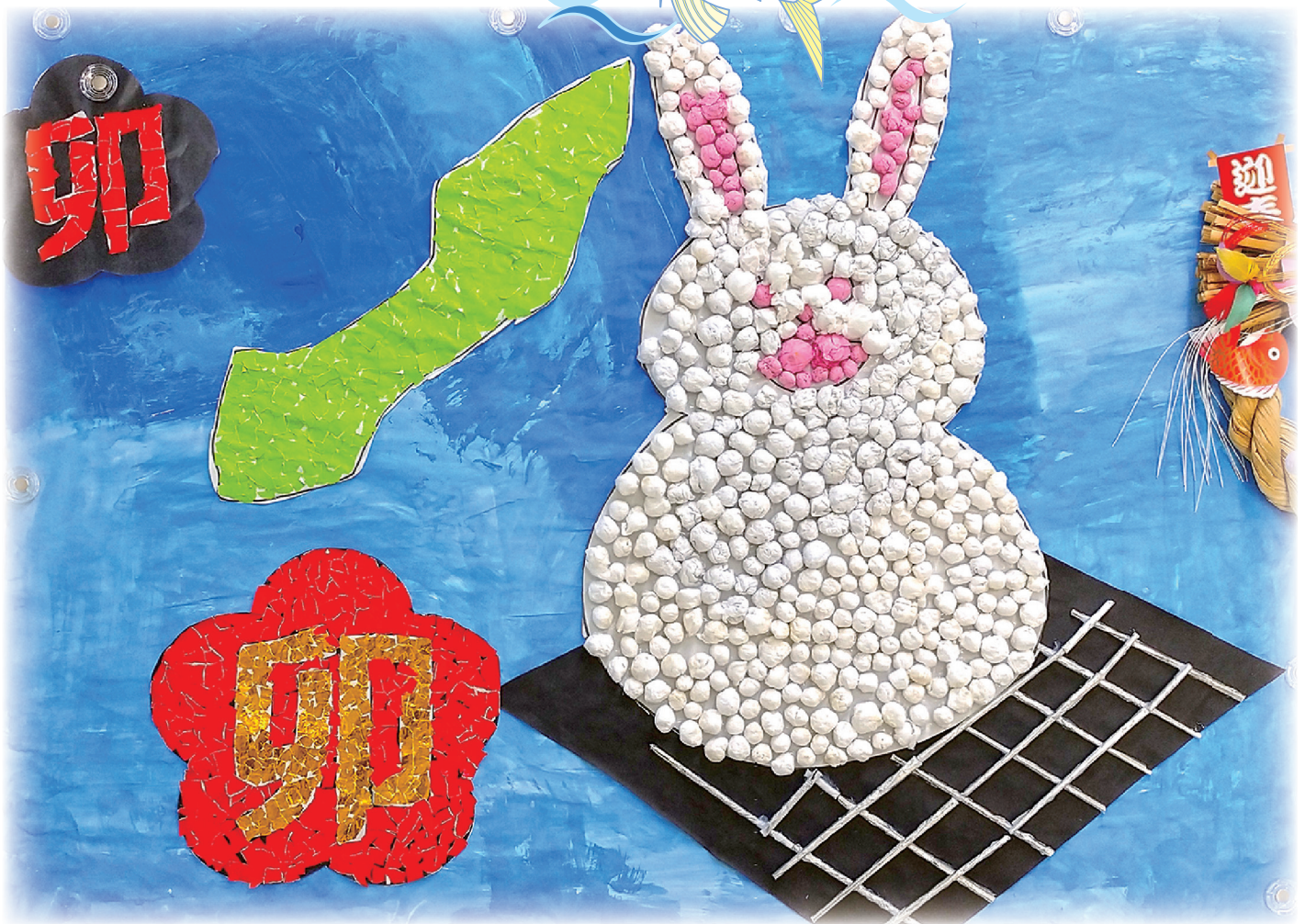




2023 冬
令和5年2月1日
第64号

へいじろう

HEIJIRŌ



今年の干支 うさぎ
回復期リハビリ病棟作品

もくじ

- 🐟 P1…高尾院長より1月の講話
- 🐟 P2…島田先生より寄稿・短歌紹介
- 🐟 P3…薬剤部 谷さん「大的始式」に参加
- 🐟 P4…永年勤続者表彰・新入職員紹介
- 🐟 P5 ~ P7…市政の窓にも掲載しています！

種子島医療センター HP



～高尾院長 1月講話より～ 未来にはいくつかの名前がある

種子島は穏やかな年明けとなりましたが、世界中には貧困、洪水、コロナ禍そしてウクライナ侵攻による平和の危機など多くの困難が溢れています。私たちは、日常があるしあわせ、戦争のない自由の大切さをひしひしと感じながら2023年を迎えたのではないのでしょうか。さて、3年に及ぶ新型コロナパンデミックの終息が待たれる中、種子島にはどのような未来が約束されているのでしょうか。

未来にはいくつかの名前がある。
弱き者はそれを「不可能」と呼び、
臆病者は「未知」と呼ぶ。
しかし勇敢な者はそれを「理想」と呼ぶ。

ヴィクトル・ユーゴー

私たちが担う種子島医療の近未来を考えてみましょう。HⅢロケットの打ち上げが始まり、馬毛島の自衛隊基地建設も始まる、今年は大きな転換期になるのではないかと。そして、それらは種子島の医療と福祉に大きな影響を与える、そんな予感がよぎるのは私だけではないでしょう。

また、人口減少およびコロナ禍に伴う患者数の減少と医療従事者の減少、とくに看護師の減少は大きな問題となるでしょう。種子島のみでなく日本全体で医療の収縮が始まっているのかも知れません。

その中で、私たちは、敢えて急性期病棟7…1看護を中心とした救急医療の改革と入院料1への変更を目指す取り組みを始めたばかりです。これまでも地域包括ケアおよび回復期リハビリの病棟改革を軌道に乗せてきました。同様に、医療と時代の変化に対応すべく重要なプロジェクトなのです。

私たちには、これまでの五十数年で獲得してきた信頼・自信に裏打ちされた継続の力があります。時代の変化に適合できる柔軟さ、寛容な心そして強い信念を私たちは持っています。

完璧な環境が整うまでとか考える必要はなく、そもそも完璧な環境など存在しないのです。だからこそ、いま始めるのです。「種子島医療を点から線、さらに面へ」と発展させること、私が考える種子島医療の未来です。



私はそれを、「理想」と呼び、職員が一丸となれば「できる」と考えています。

今年こそ新型コロナウイルス感染が終息し、いち早く本来の日常に戻ること、そして自由で穏やかな世界が訪れることを祈念し、新年の講話とさせていただきます。

～内科 島田紘一先生より～ 色 即 是 空

大学に入学したころ、禅宗に興味を持ち始めた。ある方から、高神覚昇著「般若心経講義」を戴いた。夏の夕方、近くの禅寺の座禅会に参加した。蚊が多くひとしきり刺された。座禅を組む人物はいかなる発言をなされるかと興味を懐いていた。その場の長老が大声で、「蚊が多い。刺されてかゆいが、これは忘れ去ることが一番だ」と発言した。

高神覚昇はその著の中で、「蚊に刺されたら、蚊と一体になることだ」と書いてあるのを読んだばかりなので、「何だ、禅的知的背景もないのか」とそのグループを去った。茶道に関わっていると、座禅とか、般若心経とかに縁がある。

長い年月がたちまち経過した。若いつもりが、いつの間にか、後期高齢者になった。

数年前、般若心経の266文字を頭に据えて、茶道の世界を詠いこんで短歌をつくろうと思いついた。歌集に仕上げするには、所属の短歌会の規約があるので諦めてお蔵入りにしていたが、残された人生の時間も少なくなると申請したら上梓の許可を戴いた。

今回の歌集の上梓には不思議な事に何時もの執着が無かった。何時もなら、文字一字に短歌一首をつきあわせて確認するであろうに、今回はその気持ちが無かった。いま、思い返してみても不思議な心境だった。認知症の真只中かも知れぬ。

般若心経の中で、「舍利子」と呼びかける文言のところの「子」を頭に据える短歌を作り、選者に見て貰った。ところが選者は「子……茶……」を「茶……子……」と添削してくれた。これでは困るのだが黙っていた。あるシャーマンによると、「神は偶然のようにして、物ごとを進めている」と言いつつ。

途端に目が覚めた。「舍利茶」にすべき必然性があるのだと思い、自閉症から立ち直った。

舍利子とは実在の人物で、シャーリプトラの訳語、舍利弗とも言う。

これが「舍利茶」になってしまった。茶に没入している私だから面白く感じられるのだ。それが、選者の手を経ているからなおのこと面白い。

正に、茶人に向かつて「茶道の事を歌にするぞ」と大見えを切っているように思える。茶における縁も不思議なものだ。たちまちやって来て、たちまち去ってゆく。

正に、一期一会だ。色即是空だ。これこそ「般若の知恵」による「因縁」と思える。

この因縁を生かしたい。「一切空の真理」を味わいたい。



島田先生の
短歌紹介

之ぞこの生きる力を得し園の白梅

歌人みなうつくしき

ワクチンを受けますかと聞く君の眼は

マスクの上で清らかに笑む

基地化にて馬毛島ナガラメ消ゆも惜し

みそ味を食ふ解禁待ちて

薬剤師 谷さんが大的始式(おまとはじめしき)で 射手(いで)を務めました

大的始式(おまとはじめしき)とは？

毎年1月11日に、栖林(せいりん)神社の境内で行われる行事です。松明を焚き、種子島家御紋の陣幕を張り巡らせた中で、6人の射手(いで)が36本の矢で大的を射て、その年の悪魔災難などを祓い清め、島内の平安無病息災を祈願するもので、500年以上にわたり受け継がれ、平成4年3月23日に県指定無形民俗文化財に指定されており。

今回、当院の薬剤師・谷純一さんが、射手の大役を務めることを聞き、インタビューも交え紹介したいと思います。

では、谷さんよろしくお願いします！

『大的始式に出るきっかけを教えてください』
市の弓道連盟に加盟し練習を重ねる中で、大的始式の実行委員長と知り合い、お声掛けを頂き射手を務めさせてもらっています。「男性射手の不足」も、お声掛け頂いた要因だったと思います。

『参加して感じたことなどを教えてください』

私は種子島の本家でも分家の者でもないため、種子島家の歴史に疎く、射手を務める際に度々、引け目を感じることがあります。ですが、脈々と続く歴史を絶やさない為には、そういった世代の交代も必要なのかと考えます。3年程連続で射手を務めておりますが、毎年正しい体配(動作やしぐさ)・礼を練習・イメージトレーニングをしっかりと行い失礼のないように式を執り行うことに注力しています。



写真提供：当院薬剤部 渡辺祥馬さん



『弓道を始めたのはいつですか？』

高校時代に3年間。大学入学5年以前までは、しばらく引いていませんでした。高校時代は、正直なところの当になつてしまいました。種子島に来て、栖林(せいりん)神社の道場があることを知り、またやってみようという気持ちで再開しました。

『最近の大会出場歴は？』

熊毛地区の地区大会・武道大会や、宮崎県の弓祭りなどの地方大会にはたまに出場しています。正直なところあまり上手ではないので、個人での大会上位には到達することがないです。団体戦だとチームメンバーに恵まれて上位になることもあります。

『弓道の魅力を教えてください』

やはり道場の独特な雰囲気と、弓から矢が放たれるときの音色(弦音)が綺麗に響くことでしょうか？

※最後に、薬剤師としての谷さんへ聞いてみたいと思います。

『薬剤師を目指したきっかけ？』

だいぶ昔のことですが、小学生～中学生に頃に、医師事務をしていた母親からの薦めで興味を持ったのを記憶しています。本腰を入れて目指したのは高校1年の時でした。もとより化学が好きでしたので、そういった方面での仕事ができればいいなと思っておりました。

『薬剤師の魅力とは何でしょうか？』

私は病院薬剤師の職しか就いたことがないのですが、薬を使い治療している患者さんから効果があつたかどうかなど、言葉や言動から伺うことができる点が、病院薬剤師の魅力かと思えます。きちんと良くなっている時に前向きな言葉を頂けると、この仕事で良かったなと感じます。



谷 純一さん

谷さんは、埼玉県の出身で、島に来て今年6年目になります。島に来たきっかけも、離島医療に興味があつたからだそうです。これからは、仕事に弓道と頑張つてほしいですね。谷さんご協力ありがとうございました。

(地域医療連携室 坂口 健)

令和4年度 永年勤続者表彰



令和4年度
永年勤続表彰

令和4年度、13名の職員が永年勤続者として表彰されました。私自身、あつという間の20年。これから先も、25年・30年と勤められるよう、身体もいたわりながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。
(地域医療連携室坂口健)

- 35年 田上 義生
- 25年 白尾 隆幸、中山 君代
- 20年 鈴木 英恵、遠藤 禎幸
- 羽嶋 民子、坂口 健
- 15年 芝 英樹、細山田 重樹
- 渡瀬 幸子、日高 靖浩
- 川畑 真由子、新原 祐子

新入職員紹介



にしむら そういちろう
看護師 **西村 総一郎**です。
出身地：長崎県諫早市
趣味：船釣り
特技：着岸
白黒うさぎと共に参りました。
よろしく願い申し上げます。



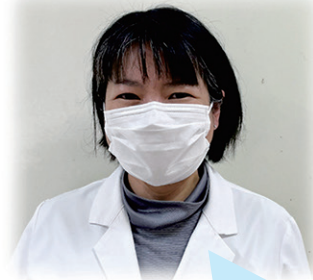
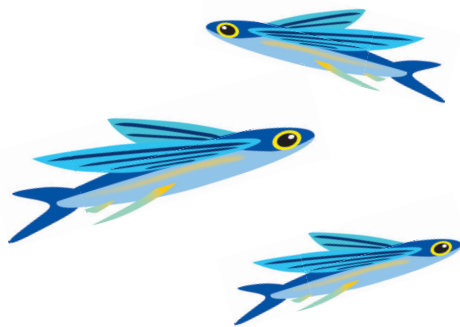
そえじま ゆうこ
訪問看護 **副島 悠子**です。
出身地：西之表市
趣味：アクアリウム
頑張ります!!



まえかわ かい
看護師 **前川 海**です。
出身地：大阪
趣味：サイクリング
特技：美味しいコーヒーいれます！
晴れの日、のんびりと自転車で島を周っています。分からないことも多いですが宜しくお願いします。



かとう はつみ
医事課 **加藤 初美**です。
出身地：西之表市
趣味：テレビを見ること
頑張りますので、よろしく
お願いします。



なかむら ふじこ
薬剤師 **中村 富士子**です。
出身地：西之表市
趣味：パン作り
よろしく申し上げます。

見逃さないで!! 脳卒中の症状

種子島医療センターは、日本脳卒中学会

- 一次脳卒中センター認定病院です。



顔の片側が下がり
ゆがみがある。



片腕に
力が入らない。



言葉が出てこない。
ろれつがまわらない。

脳卒中は治療の遅れが命に関わる病気です。



発症時刻の確認

発症時刻の確認を
忘れずをお願いします!!



脳神経外科 部長
駒柵 宗一郎

症状に気づいたら、一刻も早く救急車を!



ホームページへは
こちらのQRコードで!

<http://www.tanegashima-mc.jp>



社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

超緊急!! \ 脳卒中第 2 弾 /

脳梗塞の 治療

脳梗塞とは、脳の血管が詰まる病気です。

顔の片側が下がり、
ゆがみがある。

ろれつが回らない。
言葉が出てこない。

片腕に力が入らない。



一刻も早く **救急車** を!

発症 **4 時間半以内** なら

血栓回収術（カテーテル手術）や tPA 静注療法（血栓を溶かす薬）で

症状の改善が期待できます!

6 時間以上経過したら・・・高確率で後遺症が残ります。



ホームページへは
こちらのQRコードで!

<http://www.tanegashima-mc.jp>



社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

口腔ケアとワクチン接種で肺炎予防



誤嚥性肺炎は、嚥下機能障害のため唾液や食べ物あるいは胃液などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することにより発症します。



高齢者の肺炎

7割が **誤嚥性肺炎**

ごえん



予防するには…



口腔ケア



食形態の調整



ワクチン接種



ホームページへは
こちらのQRコードで！

<http://www.tanegashima-mc.jp>



社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身